



編集・発行： 千曲市少年育成センター
事務局： 千曲市教育委員会 生涯学習課内

TEL 273-1111
内線 4133

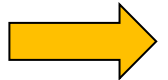
「ちくま青パト隊」 活動開始

今年度の少年補導委員は、2年の任期のため、昨年度から継続となります。各地区から推薦されて、千曲市教育委員会より委嘱された30名の委員が、青少年の健全育成のために活動をします。今年から、少年補導委員に愛称がつけました。「ちくま青パト隊」です。

写真のように小学校を訪れ、青パト隊の紹介をしていただきました。子どもたちと挨拶を交わして仲よくなっていききたいと思います。



補導委員名簿と写真は2・3ページへ！



「図書館に行ってみようよ」

千曲市少年育成センター長 小岩成夫

絵本が人気だという。NHK番組でも取り上げられていたが、東
京神田神保町の絵本専門店に、目立って大人が足を運んでいるとの
こと。

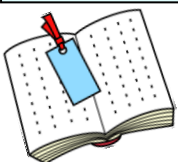
番組内でも紹介されていた絵本、「しょうぼうじどうしゃじぶた」。
長男が幼少時、母親にだっこされ、何度も何度も読み聞かせてもら
っていたお気に入りの作品だった。小さくてもいつか活躍できる、
自分を卑下することないんだよ、自分を肯定していいんだよ、とい
うテーマ。番組内男性は、自分軸で今の自分を受け入れ、前に進む
エネルギーをもらったという。六十歳を目前にしてなぜか絵本の読
後感が思い起こされる。社会人となった息子たちもいつか、思い起
こすことがあるのだろうか。

一年生児童への『セカンドブック事業』も好評、定着している。
絵本を読んでもらっていた子どもたちは、やがて自分の意志で本を
選んで読む年頃になっていく。

折り紙の好きな子は、折り紙の作り方の本を、動物の好きな子は
動物の写真集や飼育の本などを選ぶだろうか。どんなジャンルで
もいい、自身で本を選ぶ楽しさを実感して図書館利用の足掛かりに
してほしい。まずは学校図書館をのぞいてみて、図書館というわか
わくする空間が、毎日学校に通う楽しみの一つになって欲しいと思
う。

小学校低学年の時期から、テレビやゲーム機に費やす時間の幾ら
かを、日常からかけ離れた世界に没入できる『本に触れる習慣』と
なるように、環境づくりを保護者の皆さまにはお願いしたい。

日々、追いついていくのに厳しいデジタルな世の中ではあるが、
文字を読み繋いで再構築して生まれた読解力・創造力は、将来、幅
広い視野の形成にきっと結びつくと思う。



第3日曜日は家族ふれあう「家庭の日」 増やそう会話、つくろう思い出！

— うれしいな 家族そろった 読書の時間 —

令和5年度の少年補導委員(千曲青パト隊)として活動する委員です

小学校区	選出区	氏名(敬称略) ○は地区代表
屋代小	屋代第2	神尾 敦男
	屋代第3	中山 みどり
	屋代第4	池田 茂晴
	屋代第6	○ 篠原 哲雄
東小	森西	○ 古川 正
	倉科	山岸 秀人
	土口	吉村 一高
埴生小	鋳物師屋	宮坂 盛永
	打沢	湯原 志津枝
	小島	○山口 政春
	新田	吉田 弘子
	中	尾澤 徹
治田小	上八日町	高木 好江
	治田町	山田 智恵
	桑原西	○中山 一正
八幡小		選任中
	八幡上町	○小林 京子
	森下	北里 ゆかり
戸倉小	今井町	塚田 盛夫
	新戸倉温泉	坂口 公男
	戸倉温泉	○畑山 佳則
更級小	芝原	久保 元志
	仙石	大谷 省一
	羽尾第5	○ 夏目 勤
五加小	上徳間	児玉 友美
	内川	○中村 公夫
	千本柳	猪又 重信
上山田小	新山	○市川 智深
	中央	小林 康彦
	城腰	若林 直美

少年補導委員会 会長 古川 正
副会長 中村 公夫 市川 智深

具体的な活動

- ・月1~2回、午後、車(青パト)や徒歩で地区の駅前、店、公園等を巡回して見守り、声かけをします。
- ・小学校の下校時、校門付近で児童とあいさつを交わしたり、一緒に下校したりします。
- ・千曲市小中学校を訪問し、学校の様子について懇談したり、校内の様子を見たりします。
- ・夏休みには、学校の担当の先生と、PTA 役員と一緒に地区を巡回します。
- ・お祭りで会場やその周辺を巡回します。
- ・7月・11月には区内の店舗などを訪問し、その環境をチェックします。

ちくま青パト隊のイメージカラーは青

- 千曲川の清い流れの青
- 青色パトロールカーを使っの活動
- 青少年健全育成の青

青色ベストを着用し、清々しく温かな活動をしていきます

千曲市少年育成センター

所長 小岩 成夫 (教育部長)
事務局長 宮坂 敏 (生涯学習課長)
事務局次長 高島 定幸 (生涯学習課)
事務局相談員 宮坂久美子 (生涯学習課)
※ 「育成センターだより」作成担当
事務局員 若林麻衣子 (生涯学習課)
※ 事務局窓口



「ちくま青パト隊」 よろしくお願ひします！



信州あいさつ運動

4月に全県で行われる「信州あいさつ運動」、千曲市では4月26日（水）に、屋代小学校で実施しました。「大人から子どもへあいさつをすることで、子どもたちを元気づけ、地域ぐるみで子どもの育ちを応援する」ことを目的としており、当日は10名以上の大人が、屋代小学校の子どもたちとあいさつを交わしました。大人と子どもの「おはようございます。」の音がたくさん聞こえてきました。

あいさつサポーターとして「あん姫」も登場。あん姫とあいさつをすると、昇降口には子どもたちの笑顔が広がりました。



編集室の窓

「育成センターだより」のレイアウトを少し変更しました。令和5年度6月号いかがでしたか？これからも、もっと読みやすく、市民の皆さんに親しんでいただけるように工夫していきたいと思ひます。今後ともよろしくお願ひします。





～わたしのゆめ～



千曲市で学び、育っている子ども達が、どんな夢をもち、どのように立ち向かっていこうとしているかを紹介します。

「ぼくのゆめ」

東小学校

4年

北條 新太

ぼくの将来のゆめは、「大工になること」です。その理由は、3つあります。

1つ目は、何かを作ることが好きだからです。特に工作が大好きで、ひまなときは、よく工作をします。図工の時間に、絵をかいたり、何かを作ったりすると、みんなにほめられます。2つ目は、お父さんが建築士だからです。この前、お父さんがペットの小屋を作っていました。ぼくはそれを見て「建築ってすごいなあ」と思いました。3つ目は、大人になったら、自分の理想の家を作りたいからです。なぜ理想の家を作りたいかというと、その方が自分にとって、住みやすい家ができるからです。この3つの理由があるから、大工になりたいと思っています。

「バスケット」

八幡小学校

6年

三浦 大耀

僕はバスケットが大好きです。悩んだ時、バスケットをすれば気持ちがスッキリします。バスケットの試合を見た後、「あの選手みたいになりたい」と強く思うことがよくあります。

僕の将来の夢は、NBA 選手になって活躍して、自分自身がバスケットをもっと好きになることです。そして、バスケットを好きな人たちをもっともっと楽しませたいです。バスケットが好きな人が、僕の実際のプレーを見てくれたら僕はうれしいし、バスケットをやってみたいなと思ってくれると、もっとうれしいです。そのために、日々の練習の積み重ねをこれからも大切にしていきたいです。

「将来の夢」

戸倉上山田中学校

2年

若林 泉妃

私の将来の夢は「他の人や周りの人とは比べず、自分が自分らしくいられる大人」になることです。私は周りの目がとても気になり、そのせいで本当にやりたいことができなくなってしまうことがあります。服装などのことでも、周りとは違っているときには少し不安になる時があります。

私は、好きなことややりたいことは我慢したくないなあと思っています。今はまだ周りの目が気になって不安になったり、我慢してしまったりすることがありますが、少しでも自分が本気で楽しむ人生が歩めるように、自分らしくいられるように、周りの目など気にせず、自分に勝てるように頑張りたいと思っています。

教育相談・生活相談のご案内



千曲市では、次のような相談窓口を開いています。

ちょっとした不安、疑問、お気軽にお電話ください。秘密は守られます。

児童・生徒の教育や発達について

<市総合教育センター>

教育相談センター

電話相談・面接相談 273-5105

平日9:00～17:00

青少年の生活について

<千曲市役所>

少年育成センター（生涯学習課内）

電話 273-1111（内線 4133）

E-mail: youth@city.chikuma.lg.jp